竹馬会情報紙

ホームページアドレス
http://www9.ocn.ne.jp/~cihkuba/

竹馬会
CHIKUBAKAI

竹馬会キャラクター
なべムシ君

泥田バレー封入作業と総会

３月12日(土)に予定していましたが、今年度の総会は東日本大震災の発生で中止しましたが、４月３日（日）の商工会青年部主催の八面山野外音楽堂でのキック＆キャッチの豚汁の野菜切りに合わせて行いました。

野菜切り終了後、今年の泥田バレーの大会要項・参加申込書の封入作業を行い、そのあと総会を行いました。

決算報告に続いて、今年は役員改選の年に当たりますので、執行部から提案を行いました。現在の佐賀一彦会長は２期４年間会長を務めましたが、さらに３期目の留任が満場一致で承認され、向こう２年間、現体制で継続することになりました。

３期目の佐賀会長を支えて、皆さんのご協力をお願いします。

泥田バレーの受付を５月１日（日）０時から24時の１日限りで行います。抽選は、５月３日（祝）午後７時から午後９時の２時間、ノースＦＭの竹馬会提供の特別番組で行います。

キック＆キャッチで豚汁を小鍋で販売し、完売しました。売り上げは全額、東日本大震災の義援金として寄付するということで、お釣りを募金箱に入れくれる方もいて、25，732円が集まりました。大分合同福祉事業団を通して寄付しました。

▽竹馬会（中津市三光）＝２万５７３２円

豚汁の売り上げ
25，732円を東日本大震災の義援金で寄付しました。

4月7日付大分合同新聞

東日本大震災 義援金受け付け中

（敬称略）

▽笠木重彦（大分市古国府）＝1万円
▽向野保広（中津市万田）＝10万円
▽福田肇（豊後高田市新城）＝1万円
▽中野政富（豊後高田市加礼川）＝1万円
▽伊東祐一（豊後大野市緒方町）＝5万円
▽内稙田老人会（衛藤嘉平会長）＝3万円
▽三重町東営グラウンドゴルフクラブ＝1万円
▽三重町グラウンドゴルフクラブ＝3万円
▽長谷雄・菊美（杵築市大田）＝1万円
▽中津ウオーキング協会＝1万3861円
▽大分デバイステクノロジー（大分市野津原）＝5万円
▽ながさお整骨院院長・スタッフ一同（宇佐市安心院町）＝3万円
▽JFE環境サービス佐伯事業所社員一同＝2万3351円
▽竹馬会（中津市三光）＝2万5732円
▽新別府病院職員一同＝80万6

キック＆キャッチ 2連覇ならず！

昨年、初出場で見事初優勝を飾った竹馬会。松前洋平キャプテンを中心に釘丸卓也、高橋晃一など若手選手が２連覇を目指し出場しました。順調に予選を勝ち上がり決勝トーナメントに進みましたが、２連覇の壁は厚く惜しくも４位に終わりました。優勝していれば賞金５万円は義援金になるところでした。

今後の予定

■佐知地区初寄総会
４月１７日（日）午後１時～　真坂活性化センター
■中津市議会議員選挙投票日
４月２４日（日）午前７時～　真坂活性化センター
■佐知地区溝掃除
４月２３日（土）午前８時～　各組担当水路
■八面山平和マラソン　野菜切り
４月２８日（木）午後８時～　相良旧宅
■八面山平和マラソン
４月２９日（祝）午前８時　　佐知庵集合
■泥田バレー抽選会
５月　３日（祝）午後７時～午後９時ノースＦＭ生放送
■佐知地区運動会野菜切り
５月　７日（土）午後８時～　活性化センター
■佐知地区運動会
５月　８日（日）午前１０時～

西日本新聞　2011年(平成23年)6月18日　土曜日　社説・意見・小説　6

聞き書きシリーズ

夢の途中

日本昆虫学会員 元大分県警警察官 佐々木茂美さん

−73−

昆虫採集と標本作りは、かつて夏休みの宿題の定番でした。しかし、小学校教師の友人は「昆虫標本を提出する子の方が珍しくなった」と言い切ります。昆虫少年は絶滅危惧種になってしまいました。一筋の光明もあります。大分昆虫同好会の最年少会員として大分県宇佐市の中学2年生、宮本剛君がいるのです。会員に交じって昆虫を分類する同定作業を立派にやっています。研究者が使うような私と同じタイプの顕微鏡まで購入し、虫屋たちは「昆虫巡査の一番弟子」と呼んでいます。

私の両親は教育熱心でしたが、昆虫採集をやめろとは言いませんでした。宮本君の母・由紀さんも車を運転して採集場所に連れていくことがあるそうです。由紀さんは「昆虫を通して、いろんなものを見てくれればいい」と理解を示します。同好会には、高校の時に入会し、大学と大学院で昆虫学を研究し、現在国の研究機関でトップクラスの研究者になった先輩会員もいるので、宮本君の将来が楽しみです。

現在、私は足の具合が悪いため車で行ける場所周辺での採集が主になりました。「路傍採集」と自分で命名しましたが、そんな場所でも毎回のように初めて見る種に出合います。定年退職から1年を経て、暇を持て余すことなく昆虫採集や全国の虫屋との情報交換で多忙な毎日を送っています。

虫とは何か

中学時代の恩師のおかげで昆虫の世界にのめり込み「虫を採りたい」という一心で、独学でここまで来ました。虫を捕まえ、図鑑や文献に照らして「何だろう」といつも考えています。そんな過程を文章にし、話として披露するうちにいろんな分野の友人が次々と増えていきました。その友人の多くが「虫とは何なのか」と聞いてきました。

地球上に300万種もいる一部しか生態が解明されていない昆虫の世界です。私に分かるはずはありません。ただ、確信を持って言えるのは、どんな虫も必ず存在する意味を持っているということです。どんな人間も生きる意味があるのと同じです。私の昆虫と人との交遊録は今回で終わりですが、長年の夢だった昆虫研究に浸る生活はスタートを切ったばかりです。いま現在、私は夢の途中にいます。

（聞き手　岡田雄希）＝おわり

現在も昆虫採集を続ける佐々木さん

前回、お知らせしました佐々木茂美さんの西日本新聞の『夢の途中』が３月２４日から連載が始まりました。すでに２０回程になります。すべてをコピーで紹介することはできませんが、竹馬会や三光村のことが載った時には、「はずみ」でも可能な限り紹介したいと思います。
パソコンのメールアドレスを持っている人は、スクラップをメールに添付して送ることが出来ますので、すべてをお届けできます。希望される方は竹馬会情報のメールに返信で連絡をください。容量が大きくなりますので、ISDN の方は間もなく運用開始になる中津市の“光”インターネットが使えるようになってからメールアドレスを連絡ください。